

令和 6 年度

能美市教育委員会の点検及び評価報告書
(令和 5 年度事業対象)

令和 7 年 2 月

能美市教育委員会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）の一部改正により、平成 20 年 4 月から教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに市民に公開しなければならないこととなっています。

そこで、能美市教育委員会では、同法の規定により、令和 5 年度の実施について、自らその状況を点検し評価を行い、金沢美術工芸大学 桑村 佐和子先生にご意見をいただき、まとめたものであります。

能美市教育委員会としては、点検・評価の実施を通して、施策の検証と改善を絶えず図りながら、教育施策の着実な推進に努めてまいります。

令和 7 年 2 月

能美市教育委員会

目 次

1 事務の点検評価

施策1 学校教育の充実

1 教職員の資質ならびに授業力の向上	4
2 豊かな心，確かな学力の向上	6
3 教育支援の充実	9
4 コミュニティスクール事業	10
5 キャリア教育「ようこそ先輩」～将来の自分と向き合う～	11
6 教育環境の整備充実	12

施策2 青少年の健全育成

1 青少年教育	13
---------	----

施策3 生涯学習の推進

1 生涯学習活動	14
2 公民館活動の推進	15
3 社会教育施設の運営	19

施策4 芸術・文化の振興

1 文化財の保存と活用	24
2 博物館の活動	26
3 文化振興	30

施策5 スポーツの推進

1 競技スポーツの充実・強化	32
2 生涯スポーツの普及・振興	34
3 スポーツ施設の整備充実	35

2 教育委員会会議及び教育委員の主な活動

1 教育委員会会議	36
2 総合教育会議	41
3 教育委員の主な活動	41

3 学識経験者の意見

	43
--	----

施策1 学校教育の充実

能美市教育施策の大綱に基づき、地域に根ざした学校づくり、次世代を切り拓く人材の育成を目指して、確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく育む学校教育活動を展開するための教育環境づくりを推進します。

また、学習指導要領に基づき、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくり、基礎・基本が確実に定着する授業づくり、考え議論する道德の授業や特別活動の充実、いじめを許さない活力ある学校組織づくりを目指します。

1 教職員の資質ならびに授業力の向上

令和5年度の主な取組

◇教職員研修事業（839 千円）

能美市教育施策の大綱では、教職員の資質ならびに授業力の向上について、以下のよう施策を進めることとしています。

確かな学力を育むために、学力調査の結果分析をもとに学力向上のための指導体制を確立し、各種研究会等を活性化することにより、教師の授業力向上を図り、子どもたちがわかる喜びを感じ、確実に学力が向上する授業づくりを進めます。

今日的な課題にあわせて、研修講座を開催し、教職員の資質・授業力向上を目指します。また、「能美市学びのベーシック事業」研究校を指定し、指定研究校に大学等から外部講師を継続して招へいすることで、学校研究を充実させます。本事業での成果を市内に発信し共有します。外部講師からの継続した指導を受けることで教師一人ひとりの授業力の向上を目指します。

*研修講座ならびに学びのベーシック事業 講師招へい一覧（別予算も含む）

学校名	内容	講師名	所属等	開催日
教職員研修講座 (授業づくり)		平井聡一郎	文部科学省 ICT 活用教育 アドバイザー	年間 10 日
		堀田 龍也	東北大学大学院	12 月 26 日
		西村 拓一 押山 千秋	北陸先端科学技術大学院 大学	8 月 9 日
浜小	学校研究 (算数)	加固希支男	東京学芸大学附属小金井 小学校	7 月 24 日 10 月 16 日
浜小	学校研究 (国語)	樋口 綾香	兵庫教育大学大学院	8 月 7 日
寺井小	学校研究 (授業づくり)	高橋 純	東京学芸大学	4 月 18 日 11 月 22 日 12 月 14 日

栗生小	学校研究 (算数)	多田 孝志	金沢学院大学	5月1日 8月22日 2月28日
辰口中	学校研究 (授業づくり)	田村 学	国学院大学	9月7日 2月13日

評価

令和5年度は「GIGA スクール構想」から3年目となり、有効活用が問われるようになりました。chromebook の良さであるクラウドを活用しながら、各校での熱心な校内研修会と学校間の積極的なチャットスペースによる情報交換のもと、1人1台端末を活用した授業実践が進められ、質の向上を図ることができました。

市主催の夏季教職員研修は、西村拓一先生を招聘し「人工知能は単なる道具?! 人ならではの身体と心をイキイキと!」、押山千秋特任教授を招聘し「能美市から発信!! のみのみっとこころのプログラム」と題し研修しました。AI と心の教育の両面からのアプローチの大切さを確認しました。

また、冬季教職員研修として、堀田龍也教授を招聘し、GIGA を活用した最新の情報を紹介してもらい、能美市の教育活動へのご示唆をいただきました。

昨年度に引き続き、平井聡一郎先生に来ていただき、能美市小中学校 11 校を各校参観してもらい、授業づくりに対する指導・助言をいただき、授業改善に努めました。

平成30年度から始めた「能美市学びのベーシック事業」の6年目となる令和5年度は、市内4小中学校を研究校に指定し、学校研究の充実を図ってきました。本事業による講師の指導助言の機会は、該当校に閉じず、市内の各校に開くことで、市内全教職員の学びとして共有することができます。今後も、本事業を通して、市内教職員の学びの場を担保し、良い実践を横展開することで、市内の子供たちの資質・能力の向上、豊かな人間形成を目指していきたいと考えます。

2 豊かな心、確かな学力の向上

令和5年度の主な取組

◇フォローアップスクール事業（1,716千円）

本市では、児童の主体的な学びの実現に向け、土曜日に補充教室として以下の4点を掲げて、フォローアップスクール事業を展開しています。

- ・自ら学び、解決しようとする学習スタイルの確立
- ・児童の学習に向かう意欲の喚起
- ・地域の方との学びを通して育む社会性と人間性
- ・豊かな経験を持つ地域人材の活用

平成20年度より市内の小学校4・5・6年生の希望者に対し算数科を中心として取り組んでいます。算数科を主として、自学自習の確立を進める中で、学習習慣の定着、学力向上を目指します。さらに、平成28年度より学びに大きな影響を与える3年生も希望者に含めています。

また、平成30年度には参加状況や講師補充等の関係で、会場を見直し6会場から5会場に変更しました。令和元年度から「よりよい自分になるためのフォローアップ7ヶ条」をもとに、学びの基本的な姿を共有し、一人ひとりが意欲的に学びを進める場所づくりに取り組みました。どの会場でも講師のきめ細やかな見守りの中で、個々の主体的な学びを進められています。令和に入り、新型コロナウイルス感染症拡大のために参加児童が減少した時期もありましたが、防止策を講じながら継続してきました。令和3年以降、申込数の増加が見られ、児童の学びを支えています。

【よりよい自分になるためのフォローアップ7ヶ条】

1. むいだはき物は、きちんとそろえます。
2. 先生や地域の人に元気よくあいさつします。
3. 先生や地域の人にはていねいな言葉づかいをします。
4. 学習の準備をしっかりとします。
5. ノートやプリント、学習のふりかえりなど、ていねいな字で書きます。
6. あとかたづけをきちんとします。
7. よく考えて、自分のための自分の勉強にとりくみます。

*会 場 (根上) 根上学習センター (寺井) 寺井図書館、栗生公民館
(辰口) 辰口福祉会館、宮竹CC館

*講師数 39名

*近年の参加児童数の推移（年間の申込状況）

	根上地区	寺井地区	辰口地区	合計
令和元年度	39	53	120	212
令和2年度	59	37	80	176
令和3年度	69	85	75	229
令和4年度	60	96	79	235
令和5年度	66	117	91	274

評価

これまでの確実な取組が積み重なり、保護者や児童アンケートからも肯定的評価を受けています。

・満足度調査

児 童： 満足 92% 保護者： 満足 97%

「勇気を出して先生に質問したらわかった、行くのが楽しみになった。」のような肯定的な感想だけでなく、「習い事と重なり行けない日もあるが、可能な限り参加したい」という声も複数あります。来れるときに来ていただくよう返答しています。

講師の地域人材が少し増えてきましたが、高齢化もありますので、教員志望の大学生や退職教員に声をかけて、講師を確実に確保することが重要です。

◇心の教育（人間関係力）推進事業（2,872 千円）

「心の教育推進事業」として、道徳教育・特別活動を重要な領域と位置づけ、すべての教育活動を通して取組を充実させていくことが大切であると考えます。

昨今、自己存在感や自己有用感の低さやコミュニケーション能力の未熟さなどから、人間関係づくりに困り感を抱えている児童生徒が増加しています。そのことがいじめ等の生徒指導上の諸問題の発生や登校しぶり、不登校児童生徒の増加といった課題の要因の一つにもなっています。より良い学校生活と友達づくりのための QU アンケートを小学校 4 年生から中学校 3 年生までの全員に実施し、その結果分析をもとに居場所づくり、絆づくりを推進することで、心の教育の更なる充実を図ります。

＊目 的 一人一人の児童生徒の内面をつかむために QU アンケートを行い、人間関係力の醸成、親和的な学級集団づくりを目指す。

＊対象学年 小学校 4 年生～中学校 3 年生全員

＊実施回数 年間 2 回（6 月・11 月）

＊実 績 「親和的な学級」に属する学級数の割合

	6 月実施	11 月実施
令和元年度	41 %	50 %
令和 2 年度	47 %	57 %
令和 3 年度	60 %	61 %
令和 4 年度	57 %	65 %
令和 5 年度	69 %	62 %

「学校生活満足群」に属する児童生徒の割合

	6 月実施	11 月実施
令和元年度	60 %	64 %
令和 2 年度	63 %	66 %
令和 3 年度	65 %	66 %

令和４年度	65 %	69 %
令和５年度	67 %	68 %

評価

QU アンケートの結果は学級集団の状況把握，困り感を抱えた児童生徒の把握に有効であり，学校組織・学級担任の指導の手立てを検証し，人間関係力を高める取組を充実させています。推移を見ますと「親和的な学級」の割合については近年上昇傾向にあり，各校での取組の成果が少しずつ現れていると捉えています。

本市においても不登校は小学校，中学校ともに増加の傾向にあることを重く受け止めています。不登校の課題改善に向けては未然防止，早期対応，個別の支援の３本の柱で取組を充実させていく必要があります。QU アンケートはその取組を支える重要な情報となっています。いじめ問題・不登校等の課題の改善に向けて，今後も有効活用していきたいと考えます。

3 教育支援の充実

令和5年度の主な取組

◇特別支援教育支援員配置事業（62,130千円）

能美市教育施策の大綱では、特別な支援を必要とする子どもたちの主体的な社会参加や自立を目指し、一人ひとりのニーズに応じた教育の充実に努める方向性を示しています。現在、市内の小中学校においても、学習障害、注意欠陥・多動性障害、高機能自閉症など、発達障害またはその疑いのある児童生徒が在籍しています。

特別な支援を必要とする児童生徒や周囲の児童生徒の学びやすさ、居場所づくりなどのためにも、特別支援教育支援員の役割は重要です。

*特別支援教育支援員配置人数

	小学校	中学校	合計
平成27年度	21	5	26
平成28年度	20	8	28
平成29年度	23	8	31
平成30年度	19	7	26
令和元年度	20	7	27
令和2年度	21	9	30
令和3年度	26	7	33
令和4年度	33	8	41
令和5年度	37	7	44

評価

特別な支援を必要とする児童生徒数は増加傾向にあります。本市の小中学校は、特別支援教育支援員の配置により、個のニーズに合わせた指導が丁寧に行われています。

市教育センター、市子ども発達支援センター等の関係機関との連携を重視しています。月に1回、市の関係課も交えての情報交換会があります。

特別支援教育支援員に対する研修を充実させています。例年、年間2回の研修会を開催しています。第1回については市教育センターの相談員が各校へ訪問し、支援員の役割等について懇談を行う機会を設けました。小集団で発達障害を抱える子どもの特性や特別支援教育支援員としての役割について学ぶことができ、支援員からは好評でした。

また、9月には教育センター相談員による適切な児童生徒の支援に向けたポイントについての講話や各校での支援の現状についての情報交換を行う全体会を開き、より有効な支援への理解を深めました。

市内各小中学校では、特別な支援を必要とする児童生徒の個別の教育支援計画を立て、合理的配慮の内容を保護者の合意を得ながら決定しています。

特別な支援を必要とする児童生徒数が増加しているために、学校の特別支援教育支援員のニーズは非常に高いのですが、人材確保や人材育成が難しい現状があります。

4 コミュニティ・スクール事業 (4,864 千円)

令和5年度の主な取組

子どもたちの学習環境の充実や安全安心の環境づくりの向上をめざして、全11小中学校にコミュニティ・スクールを位置付けています。平成29年度に8小学校、令和2年度に3中学校に学校運営協議会を設置し、能美市の強みである「地域の力」を学校運営に生かして、組織的で計画的・持続可能な教育活動の一層の充実を図り、「地域とともにある学校づくり」に取り組んでいます。

【能美市コミュニティ・スクールのねらい】

- ・学校運営協議会が地域の「ひと、もの、こと」の教育力を活用して、子供たちに「社会で生きる力」「学ぶ楽しさ」「ふるさと能美市を愛する心」を醸成し、豊かな成長を支えます（人づくり）
- ・学校運営協議会が中心となって、学校と地域・保護者をつなぎ、学校のパートナーとして地域全体で、「地域とともにある学校づくり」を進めます。（学校・地域づくり）

【学校運営協議会の活動】

学校運営協議会では、地域の方が自分のもっている知識や特技を生かして学校の教育活動に参加するよう、学校と連携を図ります。子供達は多くの地域の方から、触れあい、見守られて、知恵や技能を習得し、人との温もり、地域のよさを感じます。社会に向き合い、かかわりあう力、協働する力を育むために、授業や行事、日々の活動などに取り組みます。

評価

感染対策を講じながらも、各学校の特色を生かした活動が展開できるようになりました。ある小学校では、楽しい学校づくりの一環として昼休みなどに「ほっとるうむ」を設け、子どもたちが地域の方や友達と触れ合いながら、輪投げ、トランプやボードゲームを楽しんだり、人とかかわるよさを感じたりするような取組をはじめました。

また学校の要望も高まり、地域の方が参加する学習が増えてきました。小学校では、家庭科の技術支援、図工科や体育科の安全支援、算数などの基礎学力支援、郷土学習の支援など、中学校では職場体験の企業紹介や職業人講話の講師発掘だけでなく、清掃活動支援や家庭科の技術支援、数学、英語の基礎学力支援、地域探検支援など多くの活動を通して、地域の教育力を生かし、地域の方との触れ合いの中で、学びの充実だけでなく、地域のよさを感じることができました。朝の挨拶運動に学校運営協議会委員も参加して、子供たちに「顔の見える化」を進める活動もしています。

6年児童のアンケートでは「地域の方々が自分たちの学習にたくさんかかわってくれたので、僕も大人になったらたくさんかかわっていきたいと思いました。」「もっと地域のことを知りたいし、地域の行事に積極的に参加したい。」「地域の人は温かい、優しい、地域の伝統を大切にしている」という声が多く聞かれました。

課題としては、学校から多角的なニーズが求められ多くの方にサポーターとして活動いただくために、さらに地域とのネットワークを広め、サポーターの発掘を進める必要があります。

5 キャリア教育「ようこそ先輩」～将来の自分と向き合う～（546 千円）

令和5年度の主な取組

市では、令和3年度から多方面で活躍されている能美市出身の方の講演を通して、先輩の活躍に触れることで、働くことの意義や目標をもって努力することの大切さを知り、これから夢や目標をもって自分の進路を主体的に考える機会として、「ようこそ先輩」の講演会を開催しています。

今年度も中学1年生が、先輩のこれまでの体験談を聴き、広く職業について知り、社会に対する志を持つ学習に取り組みました。

対 象：市内中学校1年生 468名

日 時：令和5年10月3日（火）14：00～

場 所：根上総合文化会館 音楽ホール

講 師：舞台、ミュージカル女優 グランアーツ所属

元宝塚歌劇団89期生

大月 さゆ 氏（根上中学校出身）

演 題：「これから自分の道を選び進んでいく皆さんへ」

評価

大月さんが中学時代にいろいろなことに全力トライしたこと、ソフトボール部とバレエの2つも頑張ったことなどの貴重な経験を聞くことができました。そして兄との素敵な思い出を通して、希望をあきらめずに頑張ることや、やりたいことをやろうと宝塚に挑戦したこと、宝塚時代は苦手なことは努力しないと変わらないから辛いことを光に変えるなど努力を惜しまなかったことで、今の成功に繋がったと教わりました。

生徒にとってこれからの進路を考えるときの指標となったとともに、能美市出身で宝塚で活躍し、その後女優として舞台でも活躍されている先輩がいることを誇りに思える貴重な機会となりました。

【生徒の感想】

※大月さんの話を聞いて、「なんでもやってみたいことに挑戦できるのは、素晴らしいこと」

「自分と一番闘わなければならないのは自分」ということがわかりました。私は、将来の夢とかは決まっていらないしわからないけれども、私も大月さんみたいに、きらきら輝けるように、自分のやりたいこと、好きなことにどんどん挑戦して、努力して「自分の道」を切り拓いていけたらいいなと思った。

※夢は、何かきっかけがあってできていくんだと思いました。「ライバルは自分自身」という言葉に背中を強く打たれたような気がしました。私は、勉強などのやらなければいけないことを後回しにしてしまうことがあり、ライバルに負けていたのだなと思いました。これからは、ライバル（自分自身）に勝てるように闘っていきたいと思いました。これからは、自分自身と闘っていき、夢に近づいていきたいと思います。

※大月さゆさんのお話を聞いて、自分たちの先輩がこんな努力をし、周りの人が支えてくれたんだと思いました。自分の夢を叶えるために大月さゆさんの生き方を見習って努力していきたいです。

6 教育環境の整備充実

令和5年度の主な取組

能美市教育大綱では、学校施設の充実について、学校施設長寿命化計画に基づき、大規模改修や改修工事等による学校施設の安全性と機能向上を図ることとしています。

学校施設の安全性と機能向上を目指し、老朽化に対応した改修工事、施設整備に必要な実施設計等を実施しました。

- ◇浜小学校施設整備事業 24,948千円
(トイレ改修工事, 外壁改修工事等)
- ◇福岡小学校施設整備事業 12,411千円
(体育館床改修工事, 職員トイレ改修工事等)
- ◇寺井小学校施設整備事業 9,175千円
(電話設備更新工事, 露出配管修繕工事等)
- ◇湯野小学校施設整備事業 10,626千円
(正面大時計更新工事, 配膳室空調設備設置工事等)
- ◇栗生小学校施設整備事業 3,391千円
(体育館玄関扉改修工事, 校務員室空調機設置工事等)
- ◇辰口中央小学校施設整備事業 22,744千円
(吸収式冷温水機修繕, 国旗掲揚台修繕工事等)
- ◇宮竹小学校施設整備事業 2,014千円
(間仕切建具ガラス改修工事, 旧うさぎ小屋解体工事等)
- ◇和気小学校施設整備事業 12,200千円
(プール改修工事, グラウンド防砂ネット設置工事等)
- ◇根上中学校施設整備事業 9,068千円
(防砂ネット改修工事, 職員トイレ改修工事等)
- ◇寺井中学校施設整備事業 8,265千円
(グラウンド通路舗装工事, 床改修工事等)
- ◇辰口中学校施設整備事業 5,445千円
(職員トイレ改修工事, 冷温水ポンプ修繕等)
- ◇新給食センター整備運営事業 50,714千円
(建設用地造成工事, 配水管布設工事等)

評価

市内の学校施設は昭和40年代のほぼ同時期に鉄筋コンクリート化が図られてきたため、建築から50年以上を経過した校舎・体育館が大半を占めており、老朽化対策が大きな課題となっています。令和5年度は小中学校の改修工事のほか、自校式給食の給食室の機能を集約した新給食センターの用地造成工事が完了し、令和6年2学期からの給食提供開始に向け、施設整備を進めました。

施策2 青少年の健全育成

青少年の心豊かな人間性を育む地域形成を目指し、地域・学校・家庭が相互に連絡・協力し、地域活動の体験・研修を推進します。

1 青少年教育

令和5年度の主な取組

◇ 青少年健全育成事業（425 千円）

- ・ 各種会議
 - ✧ 青少年健全育成センター運営協議会の開催
- ・ パトロール
 - ✧ 夏休み期間中、九谷茶碗まつり、根上り七夕まつり、辰口まつりの際にパトロールを実施
- ・ あいさつ
 - ✧ 市内小学校5年生にあいさつ標語を募集
399作品の中から入賞作品を決定【最優秀賞（8名）優秀賞（9名）】
最優秀賞作品については看板を作成し、各小学校に掲示

◇ 心の教育関連事業（136 千円）

- ・ ふれあいあいさつデー
 - ✧ 毎月15日を「ふれあいあいさつデー」とし、各町で公民館、学校PTAを中心に実施
 - ✧ 8月31日(木)～9月6日(水)を強化週間として平日5日間に開催（延べ約1,700人が街頭に立つ）
 - ✧ あいさつデー啓発ポスターは寺井中学校、中田光音さんの作品を採用

評価

毎月15日を「ふれあいあいさつデー」とし、あいさつ運動を実施することによって、小中学生の規範意識を高めています。15日以外にも自主的にあいさつ運動を実施している町会・町内会もあり、市民の中で心の教育をあいさつからはじめるといった意識がみえてきています。また、子ども達と地域とのつながりの一助にもなっています。

例年、能美市のお祭り（九谷茶碗まつり、根上り七夕まつり、辰口まつり）と子どもたちの夏休み期間中にパトロールを実施しています。時間帯の変更や人数の見直しを検討しつつ、今後もパトロールを継続し、青少年の非行防止活動に地道に取り組んでいく必要があります。

施策3 生涯学習の推進

1 生涯学習活動

令和5年度の主な取組

◇まなびフェスタ 2024 (408 千円)

日 時 令和6年2月18日 (日)

会 場 寺井地区公民館, 辰口図書館, 物見山総合体育館

趣 旨 市民が一体となってまちづくりをしていくためには、市民一人ひとりが地域社会の構成員として自主的に活動し、実践していくことが重要です。本会は、市民がお互いに話し合い、体験する中から新しいまちづくりが推進されることを目的としています。

参加者数

No.		内 容	人数
1	分科会	新健康エクササイズ「太極螺旋棒気功」	72
2	分科会	睡眠の質は健康の鍵	29
3	分科会	お金の教科書 2024	11
4	分科会	真脇遺跡はここまでわかった	51
5	分科会	地域と学校がつながって作る教育環境	50
6	分科会	時間について考える	8
7	分科会	「市史」って何？	24
8	体験講座	ラフターヨガ (笑いヨガ)	11
9	体験講座	上手に弾けるかな？この楽器	18
10	体験講座	親子「まちゼミ」体験しよう	7
		合 計	281

評価

まなびフェスタ 2024 では、7つの分科会と3つの体験講座を開催しました。参加者からは、充実した時間が過ごせた、気軽に参加出来て良い学びの機会になったと感想をいただきました。また、すべての分科会・体験講座が同じ時間帯なので一つしか参加できず残念だったとの意見もみられました。今後は、さらに市民の学びの場や各種地域活動への参画、地域の方々との交流を促進する機会の場となっていくことを期待します。

2 公民館活動の推進

令和5年度の主な取組

◇成人式(1,526 千円)

成人の日を迎える若者を祝い励ますと同時に、社会の一員としての自覚を深め、社会に羽ばたいてくれることを期待して開催しました。

開 催 日 令和6年1月7日(日)

会 場 能美市根上総合文化会館

時 間 10時開式

参 加 者 数

地区	性別	実参加者数	参加対象者数	参加率
根上	男	72 人	94 人	76.6%
	女	80 人	94 人	85.1%
寺井	男	105 人	113 人	92.9%
	女	103 人	116 人	88.8%
辰口	男	80 人	102 人	78.4%
	女	71 人	85 人	83.5%
計	男	257 人	309 人	83.2%
	女	254 人	295 人	86.1%

◇総合文化祭

〈展示部門〉(187 千円)

日 程 一般展示：令和5年10月27日(金)～10月29日(日)

文化協会：令和5年11月3日(金)～11月5日(日)

会 場 一般展示：根上総合文化会館

文化協会：根上総合文化会館，根上学習センター

内 容 展示を2週に分けて実施しています。1週目は地区公民館，コミュニティーセンター，児童館，そのほか各教室，サークルの作品を展示しています。2週目は生け花，川柳などの市文化協会の作品を展示しています。

〈発表部門〉(288 千円)

○市民文化・芸能大会

日 程 令和5年10月28日(土)

会 場 根上総合文化会館音楽ホール「タント」

内 容 市内の自治公民館及び市内で活動しているサークル・団体がこの日のために練習してきた演目を披露しました。

○文化協会合同公演

日 程 令和5年11月5日(日)

会 場 根上総合文化会館音楽ホール「タント」

◇地区公民館・自治公民館協議会の活動（1,655千円）

○地区公民館

・根上地区公民館

期日	行事名	会場
5月12日～	ワード基礎講座（10回）	寺井地区公民館
5月12日～	エクセル基礎講座（10回）	寺井地区公民館
6月5日～	役に立つ楽しいペン習字（10回）	根上学習センター
7月28日～	ワード応用講座（10回）	寺井地区公民館
7月28日～	エクセル基礎講座（10回）	寺井地区公民館

・寺井地区公民館

期日	行事名	会場
5月17日～	各種教養講座・趣味の教室（3講座を開講）	寺井地区公民館
6月18日	さわやかグラウンドゴルフ大会（参加26チーム）	寺井グラウンドゴルフ場
7月9日	寺井地区クリーンデー（14町会で回収）	寺井地区一円
10月1日	スポーツフェスティバル in てらい（グラウンドコンディション不良のため中止）	寺井小学校グラウンド
10月8日	寺井地区一周駅伝競走大会（参加14チーム） 寺井地区ソフトバレーボール大会（参加16チーム）	寺井地区一円 寺井体育館
12月1～3日	歳末助け合い入札展（第60回）	寺井地区公民館

・辰口地区公民館

期日	行事名	会場
8月9日	夏休み手作り工作体験教室【本棚を作ろう！】	寺井地区公民館
10月1日	スポーツフェスティバル in たつのくち	物見山陸上競技場 物見山総合体育館

○自治公民館協議会

・能美市自治公民館協議会

期日	行事名	会場
6月30日	市協議会役員会	寺井地区公民館
7月29日	春季視察研修会（ウオーキング教室）	小松市 憩いの森
11月18日	秋季研修会（岩瀬町並み・水上ライン見学）	富山県
2月21日	市協議会 監査会	寺井地区公民館
2月28日	市協議会 役員会	寺井地区公民館
3月8日	市協議会 総会	寺井地区公民館

・根上地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
4月12日	根上地区館長会	根上総合文化会館
5月21日	スポーツフェスティバル in ねあがり	浜小学校グラウンド
7月22日	根上り七夕まつり 踊りの夕べ	根上総合文化会館
7月29日	春季視察研修会（ウオーキング教室）	小松市 憩いの森
11月18日	秋季研修会（岩瀬町並み・水上ライン見学）	富山県
1月31日	根上地区役員会	根上総合文化会館
2月7日	根上地区総会	根上総合文化会館
3月15日	スポーツフェスティバル実行委員会	寺井地区公民館

・寺井地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
5月11日	自治公民館協議会 役員会	寺井地区公民館
5月30日	自治公民館協議会 館長会	寺井地区公民館
6月18日	さわやかグラウンドゴルフ大会（協会と共催）	寺井グラウンドゴルフ場
7月9日	寺井地区クリーンデー（14町会で回収）	寺井地区一円
7月29日	春季視察研修会（ウオーキング教室）	小松市 憩いの森
8月3日	スポーツフェスティバル 実行委員会	寺井地区公民館
8月22日	自治公民館協議会 館長・体育部長会	寺井地区公民館
9月22日	秋の体育行事打合せ及び抽選	寺井地区公民館
10月1日	スポーツフェスティバル in てらい(グラウンドコンディション不良のため中止)	寺井小学校グラウンド
10月16日	寺井地区一周駅伝大会（参加14チーム） 寺井地区ソフトバレーボール大会（参加16チーム）	寺井地区一円 寺井体育館
11月18日	秋季研修会（岩瀬町並み・水上ライン見学）	富山県
1月26日	寺井地区役員会	寺井地区公民館
2月16日	寺井地区総会	寺井地区公民館

・辰口地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
7月12日	辰口地区自治公民館協議会 役員会	辰口福祉会館
7月29日	春季視察研修会（ウオーキング教室）	辰口福祉会館
11月18日	秋季研修会（岩瀬町並み・水上ライン見学）	富山県
12月23日	辰口地区自治公民館協議会 監査会	寺井地区公民館
1月24日	辰口地区役員会	寺井地区公民館

2 月 9 日	辰口地区自治公民館協議会 総会	寺井地区公民館
---------	-----------------	---------

評価

○公民館

公民館は、生涯学習の拠点として様々な事業を実施しています。能美市の公民館には、大きく分けて地区公民館と自治公民館があります。

これは、この地域に相応しい形態として能美市合併以降も引き継がれたもので、校下公民館を中心とした公民館活動が展開されている他の市町とは異なったものとなっています。

旧町単位に設けた3つの地区公民館は、合併前の3町社会教育部門が担っていた事業の一部を引き継いだものと、新たに立ち上げた事業に取り組んでいます。色合いの異なる旧3町の事業運営手法を一本化する事が困難であったため、全体として合併前の異なった形態が継続されていることから、3つの地区公民館の事業量や内容に隔たりが見られるのも事実です。

今後の課題として、地区の地域性があることも事実ですが、3地区の一体化も十分精査し検討していく必要があるかと思われます。

○自治公民館

自治公民館は、町会・町内会を単位として設けられています。3地区とも地区を構成する町会（根上地区19、寺井地区18、辰口地区37）の規模に大きな開きがあります。特に辰口地区では世帯数が20に満たない町会から1,000を超す町会があります。

令和5年度は、新型コロナウイルスが5類へ移行したこともあり、少しずつではありますが、活動内容もコロナ禍前の状態に戻ってきました。引き続き、地域住民の交流が活発化されるような事業内容を考えていく必要があるかと思われます。

また、地区公民館を中心に自治公民館同士の交流の場を持ちながら、グループ単位や地区単位、或いは市内一丸となって、時代の変化を捉えた事業を行い、地域を活性化することが重要だと思います。

各地区では、年々自治公民館協議会の役員選出が難しくなっています。地区公民館として、市・地区の協議会事業がより有益で効果的なものとなるよう協議・調整を進めると共に、協議会役員への負担軽減を図っていく必要があるかと思われます。

3 社会教育施設の運営

◇市立図書館（142,946 千円）

図書館の運営方針に基づき、3 館（根上・寺井・辰口）連携し、子どもから大人まで市民誰もが読書を通じて生涯学習を深められる場として、地域に根ざした図書館づくりを目指しました。

令和 5 年度の主な取組

○ 図書館資料収集及び貸出閲覧事業

- ・幅広く市民の読書要求に応える図書資料等の選定及び魅力ある蔵書構成で、多くの利用者に図書館を活用してもらうことを目指しました。
- ・バランスのとれた資料収集と 3 館の持ち味を生かした資料収集を行いました。
（根上図書館：ビジネス書、寺井図書館：美術資料、辰口図書館：郷土資料）
- ・利用者が図書館を円滑に活用できるように、利用者登録・貸出・返却・予約・レファレンス等の貸出閲覧業務を実施しました。

◎利用状況（令和 6 年 3 月末統計）

- | | | | |
|-------|-------------|------------------|-------------------------------|
| ・蔵書数 | ： 435,980 冊 | ・人 口 | ： 49,498 人（令和 6 年 3 月 31 日現在） |
| ・登録者数 | ： 33,065 人 | ・登録率（市民） | ： 45% |
| ・貸出者数 | ： 100,562 人 | ・市民一人当たりの貸出冊数 | ： 5.8 冊 |
| ・貸出冊数 | ： 399,017 冊 | ・蔵書回転率（貸出冊数÷蔵書数） | ： 0.92 回 |

○「のみ電子図書館」事業

- ・令和 4 年 10 月 27 日より運用開始しました。「子育て世代」に重点を置き、いつでもどこにいても 24 時間 365 日インターネットを通じて、電子書籍の検索・貸出・返却・閲覧が可能なサービスを提供できるようにしています。
- ・充実した児童書を積極的に学校で活用してもらい、児童生徒への読書の興味・学習意欲・学習支援に繋がる取り組みとして、市内全児童生徒に学校用 ID を配布しました。

◎利用状況（令和 6 年 3 月末統計）

- | | | | | | |
|------|-----------|-------|------------|-------|------------|
| ・蔵書数 | ： 2,977 冊 | ・貸出者数 | ： 13,853 人 | ・貸出冊数 | ： 25,338 冊 |
|------|-----------|-------|------------|-------|------------|

○ 読書活動の推進事業

- ・図書館利用のきっかけをつくり、より多くの市民が図書館を利用できるような講座やおはなし会等の企画、運営を行いました。

◎講座・講演

- ・短歌講座
- ・まちづくり出前講座

◎年代に応じた児童サービス

- ・ブックスタート
- ・保育園や児童館などへの出前おはなし会
- ・乳幼児向けのおはなし会
- ・えいごであそぼう（幼児向け）
- ・読書スタンプラリー

◎年齢別図書リストを作成

- ・0歳から3歳児向け「えほんのじかんだよ」
- ・小学生向け「にじいろぼっけ」

◎保育園・小中学校との連携事業

- ・小中学校へのブックトーク
- ・保育園や小中学校への移動文庫
- ・小学一年生の図書館招待
- ・中学生の職場体験受入

◎能登半島地震被災者支援事業

- ・広域避難所（辰口福祉会館）への移動文庫

◎第3次能美市子ども読書活動推進計画（令和2年度～令和6年度）の具現化

○ 関係機関や各種団体との連携事業

◎能美市読書会連絡協議会やおはなしボランティアとの連携

◎関係機関と連携した展示の実施

健康推進課「食生活改善」「自殺防止」・企画地域振興課「男女共同参画」
のみ商業共同組合「のみまちゼミ講座」・いきいき共生課「認知症予防」
企画地域振興課・子育て支援課「DV・児童虐待防止」

○ 啓発・広報事業

- ・能美市広報誌の図書館コーナー（月1回）・図書館通信の発行（月1回）、時事の話題をテーマにした企画展示、SNSを活用した情報発信を実施しました。

○ 職員研修

- ・令和5年11月16日（木） Tool-i 活用研修

○ ボランティア研修

- ・令和5年12月6日（水） わらべうた研修

評価

図書館運営方針に基づき、3館連携し「地域や住民に役立つ図書館」を目指して事業を計画しました。

子どもの読書環境の整備・充実や地域に根差した市民の課題解決（地域支援）サービスに取り組み、適切な運営をしました。

能登半島地震で被災された方々にも読書支援サービスとして、広域避難所（辰口福祉会館）へ定期的に移動文庫を配置しました。

また、資料提供事業に重点を置き、来館しなくても利用可能な「のみ電子図書館」はコンテンツ数を増やし、児童生徒の読書環境を整え学びを支援すること、さらに子育て支援にも活用するほか、身体的に来館や読書が困難である方へのサービス拡大に繋がることを目的としました。

その他、県内外図書館との相互利用を活用し、利用者が求める資料提供に努めました。

◇根上学習センター（68,567 千円）

根上学習センターは、図書館を併設した展示・発表会，研修会，サークル活動及び宇宙といん石をテーマとした「子ども宇宙科学室」など，多様な生涯学習の場の複合施設として，幼児から高齢者まで幅広く利用されています。

令和 5 年度の主な取組

宇宙や科学に対する興味，関心を高めるため，主催事業の計画を立てて準備を進めてきましたが，新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館措置や事業を実施する上での感染対策の困難さから，主催事業を中止したり規模を縮小したりしました。

- 1 保育園園児を対象にした根上図書館との共催による「プラっとお話。」，一般市民を対象にした能美市の会会員が講師となるプラネタリウムを活用した星空教室，望遠鏡を使った星空観察会，プラネタリウムの定時投影を実施し天文現象し親しむ機会を提供しました。
- 2 小学生対象のおもしろ科学工作教室，ガリレオクラブ，JAXA の協力によるコズミックカレッジ等の教室，宇宙や科学をより身近に体験する機会としての「サイエンスフェスタ」は，身の周りの不思議に気づき発見し探究する場として計画しました。
- 3 パネル等を展示して，広く宇宙や科学に興味関心を持っていただくための企画展は，開催日を限定して感染対策を十分に行い，実施しました。
- 4 子ども宇宙科学室をリニューアルし，AR 技術を用いて隕石落下の瞬間の再現や，新星景写真を用いたグラフィックウォール等を新たに追加し，より宇宙について楽しく学べる場となりました。さらにウルトラマンシリーズ等の脚本家知られる，能美市出身の佐々木守氏の原稿等を展示した「佐々木守の世界」など新たな見どころもあり，子どもから大人まで楽しめる場を提供しました。

評価

施設の研修室や学習室は市民の交流の場や生涯学習の場として，各種団体等に日常的に使用されており，今後も能美市の生涯学習施設として活用されるよう施設の運営管理に努めていきます。

事業内容については，主催事業企画運営委員会のご意見を頂くことで，子どもたちの科学や宇宙への興味・関心を育められるように内容を充実させていきます。さらに，指導者の確保による内容の充実に努め，能美市における科学教育の推進に繋げることで，移住，定住の促進につながる魅力ある能美市づくりに貢献していきます。

◇根上総合文化会館（84,616 千円）

能美市の文化交流拠点と位置付け、利用促進に向けたさまざまな事業を行っています。特に日本で初めて可動音響底を採用した本格的なシューボックス型の音楽ホール「タンクト」では、市や市教育委員会の主催事業をはじめ、さまざまな催し物が年間を通して開催されています。

利用状況（令和 5 年度）

年間利用件数	2,333 件（令和 4 年度	2,112 件）
年間利用者数	108,802 人（令和 4 年度	70,361 人）

評価

市内外の企業、学校、生涯学習活動団体等から、会社説明会、展示・発表会、練習、講座を開催する際にご利用いただいています。さらに、能美市根上分室として教育行政の中核としても活用されています。

令和 5 年度は、人数制限などを設けず通常通りの収容人数で、主催事業の開催や他団体の利用を実施しました。主催事業として、楽都音楽祭、能美市ファミリーコンサートを開催したほか、いしかわ百万石文化祭 2023 の各種事業の開催会場となりました。

また、根上総合文化会館も開館して 29 年を超えましたが、今年度も幅広い世代に喜んでいただくため、収集したアンケート結果を基に改善や創意工夫を行っています。利用者の皆様のご愛顧に感謝するとともに、これからも利用者の満足度が上がるような利用環境の向上、広報活動に努めます。

施策4 芸術・文化の振興

文化財の保護・活用・継承と文化活動の奨励等により、芸術と文化の薫り高いまちづくりに向けて、文化意識の高揚を図ります。

1 文化財の保存と活用

令和5年度の主な取組

◇史跡能美古墳群保存整備事業（補助・継続事業・38,256千円）

郷土の貴重な歴史遺産である国指定史跡能美古墳群を適切に保存し、後世へ確実に継承するため、平成28年度に策定した『史跡能美古墳群整備基本計画書』に基づき、史跡の保存整備事業を進めました。今年度は、西山古墳群の発掘調査、保存整備工事実施設計、保存整備工事を行いました。

◇史跡能美古墳群及び埋蔵文化財総合活用事業（単独・継続事業・3,509千円）

市内の指定文化財を適切に保存し、後世へ確実に継承するため、市指定文化財（考古資料）西山古墳群出土品の保存処理などを行いました。

◇文化財保存修理事業（単独・継続事業・4,467千円）

市内の重要な旧石器時代遺跡である灯台笹遺跡の説明板が、経年劣化により倒壊したことから、新規の説明板を設置し、見学者の利便性向上に努めました。

また、国指定史跡能美古墳群のひとつである和田山古墳群について、史跡公園内に設置されていたトイレが老朽化していたことから撤去を行いました。

◇ふるさと歴史の広場改修事業（単独事業・80,747千円）

国指定史跡能美古墳群のひとつである和田山古墳群に隣接した「ふるさと歴史の広場」をリニューアルし、令和5年7月21日にオープンしました。

評価

◇史跡能美古墳群保存整備事業（補助）

西山古墳群の保存整備工事に着手し、公開活用に向けて事業を進捗させることができました。また、発掘調査及び整備工事実施設計を行ったことで、今後の保存整備工事に向けた準備を進めることができました。

今後は、西山古墳群の実施設計と発掘調査を進めていくとともに、保存整備工事を着実に進めていく必要があります。

◇史跡能美古墳群及び埋蔵文化財総合活用事業

出土品の保存処理を行うことで、より適切な保存処置が図られるようになり、学術的にも新たな知見を得ることができました。

今後の課題としては、その成果をどのように市民へ伝えていくか、能美ふるさとミュー

ジウムでの展示や成果報告書などの公開方法を検討していく必要があります。

◇文化財保存修理事業

市内の重要遺跡の説明板を修繕したことで、来園者の利便性が向上し、快適に散策ができるようになりました。

今後は、他の指定文化財の案内板設置や説明板の更新を行い、さらなる活用を図っていく必要があります。

◇ふるさと歴史の広場改修事業

能美ふるさとミュージアムに隣接するふるさと歴史の広場をリニューアルしたことで、史跡・能美ふるさとミュージアム・ふるさと歴史の広場を一体的に活用できるようになりました。今後はイベントの開催など具体的な活用策を考えていく必要があります。

2 能美ふるさとミュージアムの活動

◇教育・普及活動・賑わい創出事業（20,951 千円）

展示

展示名	期日	概要
ミニ企画展「ひなまつりに飾られたもの」	2月23日（木）～ 4月2日（日）	ひなまつりのお菓子と雛人形をミュージアムギャラリーにて展示
ミニ企画展「五月人形」	4月15日（土）～ 5月7日（日）	所蔵する五月人形をミュージアムギャラリーにて展示
能美市写真協会 写真展	5月17日（水）～ 5月27日（土）	能美市写真協会の会員の作品をミュージアムギャラリーにて展示
辰口絵画クラブ展「辰口の風」	5月30日（火）～ 6月11日（日）	辰口絵画クラブの会員の作品をミュージアムギャラリーにて展示
初夏企画展「前田利長 能美出陣 ～大聖寺・浅井畷合戦～」	6月3日（土）～ 7月17日（月）	関ヶ原合戦にうかがえる能美の関連資料を特別展示室にて展示
国民文化祭大会旗巡回展	7月15日（土）～ 7月23日（日）	大会旗と合わせ国民文化祭関連資料をエントランスにて展示
夏季企画展「加賀立国能美誕生1200年」	7月21日（金）～ 8月27日（木）	能美の誕生背景、加賀国府や能美市内の関連遺跡などの資料や復元品を特別展示室にて展示
展示「能美のいいとこ！こんなとこ！1200コメント」	7月21日（金）～ 8月27日（木）	1229点集まったコメントの一部をミュージアムギャラリーで展示
秋季企画展「にっぽんの古墳クッション展 in 能美」	9月2日（土）～ 10月15日（日）	宇宙椅子 cosmic re-chair フクトククニヲ氏とのコラボ展。古墳クッション82点をミュージアムギャラリーにて展示
KUTANism2023「九谷に包まれる」展	10月6日（金）～ 11月5日（日）	KUTANism（小松マテーレ協力）による「九谷焼柄の布の空間」を特別展示室にて展示
いしかわ百万石文化祭 2023「ディスカバリーアート展」	10月21日（土）～ 10月29日（日）	ディスカバリーアート入選作品をミュージアムギャラリーにて展示
いしかわ百万石文化祭 2023「全国古墳写真展」	11月3日（金）～ 11月26日（日）	全国から集まった古墳写真をミュージアムギャラリーにて展示
特別展「市内学校制作墨書土器展 ～土器に願いをこめて～」	11月26日（日）～ 2月12日（月）	加賀立国能美誕生1200年を記念し、児童生徒が制作した墨書土器を特別展示室にて展示
企画展「ひなまつり展」	2月17日（土）～ 3月31日（日）	所蔵する雛人形を中心にミュージアムギャラリーにて展示

イベントなど

講座・イベント名	期日	概要
自然観察会 能美の野鳥を楽しもう	5月～3月 土曜日 計10回開催	講師：高 剋宏・高 文子（日本野鳥の会石川県支部 幹事） 合計84名参加
加賀立国能美誕生1200年「のみふるこどもまつり」	5月6日（土）	「まが玉」を作ろう！・クイズラリー・顔出しパネルでPR！加賀立国1200年・目指せ1200コメント！能美のいいところ！こんなところ！
祝・加賀立国能美誕生1200年記念イベント	7月21日（金）	タイムカプセルイベント・加賀立国能美誕生1200年記念式典・ふるさと歴史の広場リニューアルオープン式典・クイズラリー・シナモンショー・ライトアップ・キッチンカー
加賀立国能美誕生歴史バスツアー	7月22日（土）	森田喜久男先生の講演後、先生とともに加賀立国前後の関連遺跡を巡る歴史探求ツアー
防災フェスタ共催イベント	9月24日（日）	火起こしに挑戦！（体験）・紙芝居で知ろう「粟生のおおみず」・ちょっと昔の消防道具展
いしかわ百万石文化祭2023 古墳シンポジウム「加賀の国生みと能美古墳群」	10月14日（土）	加賀立国能美誕生1200年 / 能美古墳群国史跡指定10周年を記念としたシンポジウム
加賀立国能美誕生1200年記念「のみふる古墳まつり」	10月14日（土）・15日（日）	能美市商工会青年部「のみごっこ」・能美のいいものの探検！・ナイトマルシェ古墳 de 夜市・松明イベント&墨書土器奉納式・記念花火・いしかわ百万石文化祭2023「アート演出」・古代体験（まが玉作り）・押し寿司販売・キッチンカー・のみ古墳女子クイズラリー・のみふるマーケット
のみふる賑わいイベント「のみふるクリスマス」（金沢工業大学共催）	12月16日（土）	オリジナルカレンダーづくり・年賀フォトスポット・のみふるマーケット・KIT企画「プレゼント交換会」、「特別な帽子をつくろう」
のみふる賑わいイベント「のみふるひなまつり」	3月2日（土）	紙の羽子板づくり・貝合わせゲーム大会・のみふるラリー・キッチンカーカーニバル

団体見学の受け入れ

市内小学校	・・・	24校	児童	1,173名
市内中学校	・・・	3校	生徒	462名
市内保育園	・・・	17園	園児	466名
市外小学校	・・・	4校	児童	138名
市外中学校	・・・	2校	生徒	30名
市外保育園	・・・	1園	園児	15名
市外大学	・・・	7校	学生	117名
その他教育団体	・・・	2団体		22名

出前講座

講座名「能美市ってこんなところ（歴史、自然）」

5月14日（日）三寿会

6月5日（月）能美市老人クラブ連合会寺井支部

9月15日（金）緑が丘わかばの集い

10月20日（金）緑が丘わかばの集い

2月18日（日）浜町いきいきサロン

講座名「きょう土の伝統・文化と先人たち」

10月20日（金）辰口中央小学校4年生

講座名「どうする利長・長重」

11月10日（金）能美ロータリークラブ

のみふる友の会

総会…4月26日（水）（令和5年度総会）

会報…『のみふる便り』を2回発行

研修会…5月25日「辰口の文化財めぐり(2)」

講師：会員 瀧上 秀明

6月16日・18日「学芸員による企画展解説」

講師：学芸員 鎌田 康平

11月2日 県内施設見学 小松市埋蔵文化財センターなど

12月7日・21日・1月18日 古文書解説教室

講師：学芸員 鎌田 康平

3月7日「辰口の文化財めぐり(3)」

講師：会員 瀧上 秀明

ボランティア活動…のみふる古墳まつり イベント・古代体験の補助

◇調査・収集・記録事業（32 千円）

○生物生息調査

- ・トミヨの保全作業・調査・専門家との協議など（6 月～9 月）
- ・蟹淵モリアオガエル卵塊調査（6 月～7 月）

評価

令和 5 年度は、加賀立国から能美の地名が誕生して 1200 年の記念や、いしかわ百万石文化祭 2023 の開催に関連する展示やイベントが数多く行われました。令和 5 年度の展示では、初夏企画展・夏季企画展・秋季企画展・特別展を開催し、能美市の自然・歴史・民俗の魅力発信に努めました。秋季企画展「につぼんの古墳クッション展 in 能美」は、宇宙椅子 cosmic re-chair フクトククニヲ氏とのコラボ展で、会期中にお気に入りの古墳クッションに投票する古墳クッション選手権を行い、子どもから大人まで多くの来館者が古墳に親しみました。

のみふる古墳まつりでは、いしかわ百万石文化祭 2023 によるアート演出やナイトマルシェなどの催しが行われ、10 月 14 日の来館者数は 2120 人と例年にない盛り上がりを見せました。さらに、のみふる古墳まつりと同日 14 日に、能美古墳群国史跡指定 10 周年を記念した古墳シンポジウム「加賀の国生みと能美古墳群」を開催しました。有識者による基調報告や記念講演が行われ、今後の能美古墳群研究に期待が高まりました。のみふる賑わいイベントは、4 回開催しました。そのうち、のみふるクリスマスは金沢工業大学と共同開催し、学生が企画したイベントを実践してイベント参加者の増加や満足度向上を試みました。

小中学校・保育園は安定して団体見学があり、それぞれの学年や学びの目的に応じた案内を行いました。令和 5 年度は出前講座の申込が多くありました。様々なニーズに応えつつ、能美ふるさとミュージアム館外においても学習の機会を創出しました。

のみふる友の会では、4 年ぶりに総会を行うことができました。活動としては、昨年から引き続き市内の文化財めぐりを行い、地元に残る歴史や自然について学びました。学芸員による古文書解説教室では、普段見ることのない古文書について詳細な解説を 3 回に分けて行いました。会員の学ぶ意欲に応える機会となり、好評を得ました。

今年度も多くのイベントの開催や、学校からの団体見学等により、さまざまな世代の方々にご来館いただきました。今後も、現在の取り組みを維持しつつ、展示やイベントの内容をさらに磨き上げ、より多くの皆様に愛される博物館となるよう工夫してまいります。

3 文化振興

令和5年度の主な取組

◇いしかわ百万石文化祭 2023 (13,465 千円)

31年ぶりに石川県で開催された「いしかわ百万石文化祭 2023」では、10月14日から11月26日までの44日間、県内全域で様々なイベントが催されました。

能美市では、11の特色あるイベントを開催しました。

事業名	開催日
九谷陶芸村まつり（秋の茶碗まつり）	10/14(土)～10/15(日)
九谷体験ツアー（九谷焼まみれ）	10/21(土)～11/26(日)
九谷“繋がる展”&ワークショップ	10/14(土)～11/26(日)
国際交流ひろば	11/23(木・祝)
GAP FREE パフォーマンス	11/12(日)
障がいのある人たちの内なる感性に触れる “ディスカバリーアート”展	10/14(土)～10/29(日)
加賀立国 1200 年記念・能美古墳群国史跡指定 10 周年記念 ①古墳シンポジウム ②アート演出	10/14(土) 10/15(日)（アート演出のみ）
全国古墳写真展	11/3（金・祝）～11/26(日)
Art Project for SDGs	11/8(水)～11/12(日)
子ども未来創造フェスティバル	11/9(水)～11/12(日)
能美のいいもの探検！	10/14(土)

◇文化連盟・協会 (4,700 千円)

文化活動を行う各種団体相互の連絡を図り、連携して文化向上に寄与することを目的とします。加盟協会は計 34 協会。

◇民俗芸能保存伝承 (576 千円)

郷土芸能の保存・伝承に取り組むことにより、後継者の養成、地域社会の活性化、世代間交流の回復に寄与することを目的とします。保存会は計 14 団体。

評価

いしかわ百万石文化祭 2023 が開催され、各種様々なイベントを通して多くの市民の参加があり、文化振興の一助となりました。

文化連盟・協会への補助を行うことで、経済基盤が脆弱な団体の活動が活発になっています。文化祭や発表会などで市民の文化意識の向上を促進しており、能美市総合文化祭では文化協会会員による合同公演を開催しています。

市民からの作品を募集して発刊する文芸能美など、連盟・協会以外の方が参加できる機会を設けることにより、市全体の文化発展に寄与しています。文芸能美は発刊第 19 号と

なりました。文化活動を通じての市の発展と活性化がますます期待されます。

民俗芸能保存会への補助を行い、練習会やイベントで披露することで、伝統文化を守り伝えていきます。

施策5 スポーツの推進

市民の運動やスポーツのニーズに応じ、市民一人ひとりが自己の生活や目的にあった形で、スポーツを楽しむライフスタイルの構築を目指し、誰もが気軽にスポーツやレクリエーションなどの運動に親しめる、安全で効果的なスポーツの環境づくりを積極的に進めました。

1 競技スポーツの充実・強化

令和5年度の主な取組

◇県民スポーツ大会への選手派遣（3,168千円）

「第75回石川県民スポーツ大会夏季大会」は、8月5日、6日の2日間にわたり、かほく市を主会場に開催され、男子総合7位、女子総合5位でした。冬季大会は、令和6年能登半島地震のため中止となりました。

◇能美市民スポーツ大会（700千円）

広く市民の間にスポーツを振興し、スポーツ精神の高揚と選手の発掘、育成強化を図ることを目的に、6月を中心に市内各施設（一部除く）で23競技が開催（3競技中止）され、その運営補助を行いました。

◇第66回全国銃剣道能美大会（1,200千円）

地方で開催される唯一の銃剣道競技の全国大会として、全国各地から自衛隊や一般、高校生の精鋭が集まる大会ですが、4年ぶりの開催となりました。令和5年度は全国から60チーム、405名が出場し、団体の部、個人の部でそれぞれ日本一を目指しました。

競技自体が特殊なことから、市銃剣道協会が中心となり開催され、大会運営の補助を行っています。

期 日 令和5年6月11日（日）

場 所 能美市寺井体育館

◇第48回全日本競歩能美大会（9,671千円）

本大会は「第18回日本学生20km競歩選手権大会」を併催し、また、パリ2024オリンピック競技大会の日本代表選手選考競技会にも位置付けられました。10部門計262名のエントリーのもとレースが行われました。なお、「アジア陸上競技選手権大会20km」は令和6年能登半島地震のため中止となりました。

また、中学生の部は、昨年に引き続き地元・辰口中学校の選手が優勝しました。

大会前日には競歩大会開催への機運を高めるプレイベントとして、「のみきょうほワクワクデー」を開催し、お笑いタレントや市応援大使「シナモロール」、「西金沢少女団」のステージショーやウオーキングイベント、キッチンカーのグルメなどで会場は大いに盛り上がりました。

期 日 令和 6 年 3 月 17 日（日）

場 所 日本陸上競技連盟公認能美市営 20 k m コース（往復 1.0 k m）

評価

県民スポーツ大会への選手派遣及び市民スポーツ大会については、競技力の向上強化や市民のスポーツ競技への関心と振興を図るための運営費として、能美市スポーツ協会へ補助金として交付しているものであります。県民スポーツ大会は、冬季大会は能登半島地震の影響から中止となりましたが、夏季大会は男子総合 7 位・女子総合 5 位と健闘しました。引き続き、成績の向上を目指し取り組んで参ります。

全国銃剣道大会については、4 年ぶりの開催となりました。今後も規模の拡大を目指し、取り組んでまいります。

全日本競歩能美大会については、10 部門計 262 名のエントリーのもと、日本全国からトップウォーカーが集結し健脚を競い合いました。また、前日にプレイベントを実施することで、競歩大会への関心を高めることが出来ました。

引き続き、全国銃剣道能美大会及び全日本競歩能美大会で観客の更なる増加を目指した取組みを実施し、より市民に身近な大会づくりを目指します。

2 生涯スポーツの普及・振興

令和5年度の主な取組

◇ジュニアスポーツクラブ活動（3,000 千円）

スポーツを通して健全な青少年の育成を図るとともに、各競技の技術力の向上及び競技人口の拡大を図るため、市内 41 クラブの活動を支援しています。

また、各クラブ間の連携や交流、親睦を図るため、毎年様々な行事を開催しております。

◇高齢者健康クラブ活動（858 千円）

運動の機会の少なくなる高齢者の方々に健康、体力保持を目的として開催する教室であり、市内 3 クラブ 105 名の高齢者が 3 会場に分かれ、ダンスや体操を行っています。県の交歓大会や普及育成研修会等に参加する等、3 クラブはもとより市外の健康クラブとも交流を図っています。

◇能美市スポーツ推進委員会（1,363 千円）

地域に密着したスポーツ推進活動を行っており、主にニュースポーツを中心とした生涯スポーツの普及に力を入れ、「だれでも」「どこでも」「いつでも」「いつまでも」をスローガンにスポーツに親しめる環境づくりに取り組んでいます。

カローリングやスライディングペタンクといったニュースポーツの普及を重点に置きながら、小学校の親子レクリエーションや地域の親睦会等で交流を深めました。

評価

ジュニアスポーツクラブ活動については、結団式や親子ふれあい事業、スポーツ交流大会を実施しました。能登半島地震の影響によりリーダー研修会は中止となりましたが、予定していた事業をおおむね実施することができました。今後も役員と協力し、積極的にクラブ間の交流を図るべく活動に取り組んでいきます。

高齢者健康クラブについては、会員同士の交流の機会となるよう、講師指導のもと、体操やダンスを行っております。今年度は県の交歓大会等に参加し、県内のクラブとも親睦を深めました。今後も会員の生きがいとなるようなクラブ活動になるよう役員と協力して取り組んでいきます。

能美市スポーツ推進委員会については、出前講座を中心としたニュースポーツの普及を図っています。その需要は年々高まりつつあり、子どもから高齢者まで幅広い年代で生涯スポーツに親しみたい方から依頼が来ております。今後も継続して出前講座を続けていく中で、出務していただいている委員にとってもやりがいのある事業になるよう取り組んでいきたいと考えております。

3 スポーツ施設の整備充実

令和5年度の主な取組

◇秋常勤労者体育センター外壁等改修工事

- ・屋根・外壁改修工事一式
- ・改修に伴う設備工事一式

◇物見山野球場夜間照明施設改修工事

- ・夜間照明施設改修 N=3 基

◇寺井中学校夜間照明施設改修工事

- ・夜間照明施設改修 N=3 基新設 N=6 基改修

◇根上パークゴルフ場等周辺整備事業

- ・公園2工区

植栽(中高木) N=19本 植栽(低木・地被類) N=496株 樹木伐開 N=13本

◇根上パークゴルフ場等周辺整備事業(補助)

- ・能美シーサイドプレイパーク新築木造平屋 延床面積 207.85 m²

◎スポーツ施設整備費総額 378,262 千円

評価

施設整備にあたっては、既存施設の活用を柱とし、ニーズの高い競技施設の計画的な整備、安全・安心・気軽に利用できるよう充実を図っています。

秋常勤労者体育センターは建設当初から大きな改修は行われてこなかったため、30年近く経過し損傷が目立ってきた屋根、外壁等について改修工事を行いました。

物見山野球場の夜間照明施設については、古くなった水銀灯6基をLED照明に取替えるもので、昨年度に3基分をLED照明に取替え、今年度に残りの3基分を取り替えました。

寺井中学校の夜間照明施設については、古くなった水銀灯6基をLED照明に取替え、新たに3基のLED照明を設置することで、夜間に使用可能なエリアを拡張しました。

根上パークゴルフ場等周辺整備事業は、根上パークゴルフ場周辺の一体整備を行うとともに、スポーツを通じたまちの賑わい創出の交流拠点となる「能美シーサイドプレイパーク」を整備しました。

今回の改修施設を含めた市内体育施設は建設後20～40年以上経過した施設であり、経年劣化による老朽化が進み改修が必要な施設が多くなっています。

今後も懸念である施設の統廃合計画を勘案し、スクラップ&ビルドも含めた施設の改修計画を策定することで、施設の延命化を図ります。また、施設利用者が安全・安心・快適に利用出来るよう整備し、幼児から高齢者まで男女を問わず幅広い年代が気軽にスポーツに親しめる環境を整え、スポーツの参加促進、普及・育成につなげていきたいと思います。

教育委員会会議及び教育委員の主な活動

1 教育委員会会議

12 回開催（開催日及び審議決定事項 下表のとおり）

{ 議事 17 件 }

令和 5 年度教育委員会会議開催状況

回（開催日）	審 議 決 定 事 項
令和 5 年第 4 回 (R5. 4. 24)	議案第 6 号 能美市教育委員会事務局組織規則の一部改正について 議案第 7 号 教育支援委員会規則の一部改正について 議案第 8 号 能美市立学校における学校運営協議会に関する規則の一部改正について 議案第 9 号 能美市学校運営協議会委員・能美市コミュニティ・スクール推進協議会委員及び能美市コミュニティ・スクールディレクターの選任について 報告事項 ・石川県市町教育委員会連合会定期総会について ・能美市小中学校 管理・主任等一覧 ・能美市立小中学校 学校別人数・学級数 ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（3 月状況） ・能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（3 月状況） ・6 月補正事業に係る流用対応について （学校DX推進コーディネーター配置事業） ・いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭 2023 i n 能美について ・スポーツフェスティバル i n ねあがりについて ・のみふるこどもまつりについて ・市史編纂室について ・さつきラン&ウォーク 2023～企業対抗戦～について ・日本代表選手合宿誘致事業について
令和 5 年第 5 回 (R5. 5. 30)	議案第 10 号 能美市ふるさと歴史の広場キャンプ場管理運営規則の制定について 議案第 11 号 根上翠ヶ丘運動公園再整備構想検討委員会 設置要綱の制定について 報告事項 ・令和 4 年度教育関係補正予算（最終専決）及び令和 5 年度補正予算（6 月補正）の要求について ・全国大会出場・結果報告

	・令和５年度計画訪問・１次懇談会の参加について ・能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（４月状況） ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（４月状況） ・いしかわ百万石文化祭 2023 能美市事業について ・能美ふるさとミュージアムの連休中の状況について ・根上翠ヶ丘運動公園イベントの開催について ・第 66 回全国銃剣道能美大会の開催について
令和５年第６回 (R5. 6. 28)	議案第 12 号 能美市体育施設管理運営規則の一部改正について 報告事項 ・令和５年度石川縣市町教育委員会セミナーについて ・姉妹校交流について - 韓国・培材中学校受入事業（根上中学校）中止 - 韓国・大徳中学校派遣事業（寺井中学校）中止 ・学校給食費の無償化について ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（５月状況） ・能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（５月状況） ・第 42 回加賀地区中学生意見発表大会について ・加賀立国能美誕生 1200 年記念イベントについて ・全国大会出場・結果報告 ・第 75 回石川県民スポーツ大会夏季大会の開催について ・根上翠ヶ丘運動公園再整備に関するアンケートの実施について
令和５年第７回 (R5. 7. 27)	議案第 13 号 能美市就学援助費支給取扱規則の一部を改正する規則について 議案第 14 号 令和５年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について 報告事項 ・能美市小中学生国際大会等出場激励金交付要綱の一部改正について ・全国大会出場者報告について ・令和５年度石川縣市町教育委員会連合会研究大会について ・能美市学校給食センター安全祈願祭・起工式について ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（６月状況） ・能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（６月状況） ・ふれあいあいさつデー強化週間について ・e スポーツ体験会の開催について
令和５年第８回 (R5. 8. 18)	議案第 15 号 令和５年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について

	報告事項 ・令和5年度教育関係補正予算（9月補正）の要求について ・全国大会出場者報告について ・令和5年度能美市立小学校 運動会の開催について ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（7月状況） ・能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（7月状況） ・第17回能美市ファミリーコンサートについて ・全国大会出場者報告について ・第75回石川県民スポーツ大会の総合成績について ・ツエーゲン金沢「ホームタウンサンクスデー」について
令和5年第9回 (R5. 9. 28)	報告事項 ・令和5年度加南地区教育委員会連絡協議会研究大会について ・全国大会出場者報告について ・能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（8月状況） ・令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について ・令和5年度能美市立小学校 運動会について ・石川県立あすなろ中学校（夜間中学）について ・いしかわ百万石文化祭2023について ・加賀立国能美誕生1200年記念のみふる古墳まつりについて ・オクトーバー・ラン&ウォーク2023について
令和5年第10回 (R5. 10. 20)	議案第17号 令和5年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 報告事項 ・全国大会出場者報告について ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（9月状況） ・能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（9月状況） ・第3回能美市子ども未来創造フェスティバルについて ・第19回能美市総合文化祭について ・加賀立国能美誕生1200年記念のみふる古墳まつり・古墳シンポジウムの実施報告について ・スポーツ教室開催事業について
令和5年第11回 (R5. 11. 24)	報告事項 ・全国大会出場者報告について ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（10月状況） ・能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（10月状況）

令和 5 年第 12 回 (R5. 12. 21)	議案第 18 号 能美市立学校管理運営規則の一部を改正する規則について 報告事項 ・第 1 回能美市総合教育会議の開催について ・議題（１）能美市教育大綱の改正について ・議題（２）能美市「魅力ある学校づくり」 不登校児童・生徒への支援について ・全国大会出場者報告について ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（11 月状況） ・能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（11 月状況） ・能美市成人式～二十歳のつどい～について
令和 6 年第 1 回 (R6. 1. 24)	報告事項 ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（12 月状況） ・能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（12 月状況） ・歳末助け合い入札展実績報告 ・令和 6 年能美市成人式～二十歳のつどい～参加者数報告 ・まなびフェスタ 2024 について ・令和 6 年能登半島地震による被害等の報告について
令和 6 年第 2 回 (R6. 2. 16)	議案第 1 号 令和 5 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 議案第 2 号 令和 5 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定（新入学用品費入学前支給）について 報告事項 ・全国大会出場者報告について ・第 2 回能美市総合教育会議の開催について ・議題：能美市教育大綱の改正について（案） ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（1 月状況） ・能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（1 月状況） ・令和 5 年度卒業式・令和 6 年度入学式について ・能美市における部活動の地域移行の現状について ・能美ふるさとミュージアム賑わい創出事業「のみふるひなまつり」について ・第 48 回全日本競歩能美大会プレイベント・本大会の開催について ・（仮称）スポーツレクリエーション交流拠点施設の名称について
令和 6 年第 3 回 (R6. 3. 15)	議案第 3 号 令和 5 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について

	議案第 4 号 能美市体育施設管理運営規則の一部を改正する規則 について 報告事項 ・ 能美市教育大綱（案）について ・ 長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（2 月状況） ・ 能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（2 月状況） ・ 令和 6 年度入学式について ・ 令和 5 年度能美市立小中学校 学校評価最終報告書について ・ ふれあいあいさつデーについて ・ 全国大会出場者について ・ 第 48 回全日本競歩能美大会について ・ 令和 6 年度能美市ジュニアスポーツクラブ及び能美市健康クラブの活動開始について
--	--

2 総合教育会議

年 月 日	議 題
R5. 12. 27	(1)能美市教育大綱の改正について（案） (2)能美市「魅力ある学校づくり」 不登校児童・生徒への支援について
R6. 2. 26	(1)能美市教育大綱の改正について（案）

3 教育委員の主な活動（大会ほか各種行事など）

年 月 日	内 容
R5. 4. 6	市内小中学校入学式
R5. 4. 16	ふれあいあいさつデー
R5. 5. 9	石川縣市町教育委員会代表者会
R5. 5. 9	石川縣市町教育委員会連合会定期総会
R5. 5. 15	ふれあいあいさつデー
R5. 6. 5	寺井小学校計画訪問
R5. 6. 15	ふれあいあいさつデー
R5. 6. 20	宮竹小学校計画訪問
R5. 6. 23	福岡小学校計画訪問
R5. 7. 5	辰口中央小学校計画訪問
R5. 7. 6	和気小学校計画訪問
R5. 7. 18	ふれあいあいさつデー
R5. 8. 1	石川縣市町教育委員会セミナー
R5. 8. 31～	ふれあいあいさつデー強化週間
R5. 9. 7	寺井中学校計画訪問
R5. 9. 29	湯野小学校計画訪問
R5. 9. 29	石川縣市町教育委員会代表者会
R5. 9月～10月	市内小中学校運動会
R5. 10. 16	ふれあいあいさつデー
R5. 10. 23	根上中学校計画訪問
R5. 10. 27	石川縣市町教育委員会連合会研究大会（能美市）
R5. 11. 3	能美市表彰式
R5. 11. 14	辰口中学校計画訪問
R5. 11. 15	ふれあいあいさつデー
R5. 11. 17	粟生小学校計画訪問
R5. 11. 21	浜小学校計画訪問
R5. 11. 27	加南地区教育委員会連絡協議会研究大会（能美市）

R5. 12. 15	ふれあいあいさつデー
R6. 1. 7	能美市成人式～二十歳のつどい～
R6. 1. 15	ふれあいあいさつデー
R6. 2. 15	ふれあいあいさつデー
R6. 3. 9	市内中学校卒業式
R6. 3. 15	ふれあいあいさつデー
R6. 3. 15	市内小学校卒業式

評 価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき，教育全般にわたる職務権限を有する行政委員会として，委員自らが重要な責務を自覚しつつ，職務遂行に必要な知識の習得・研修に取り組みました。

引き続き多様化する教育ニーズに対応し，能美市教育大綱の基本理念である『地域に根ざし 豊かな未来を切り拓く 人づくり』の実現に向けて，教育の充実・振興に努め市民にわかりやすく教育委員会の活動を説明しつつ，更なる教育行政の推進に努めています。

令和5年度は新型コロナウイルス等の感染症への配慮をしながらも、徐々に元の生活に戻ってきていることを感じられる報告になっています。特に、令和5年度は「能美」という地名が誕生して1200年という節目の年であったり、いしかわ百万石文化祭2023の開催に伴って能美ふるさとミュージアムなど能美市の各所で多くのイベントが開かれるなど、市内外の多くの人々の交流があったことが想像されます。その一方で、令和6年1月1日の能登半島地震と、その後の能登の豪雨は能美市の皆さんにとっても大きな災害だったと思います。

令和5年度の報告を拝見していて、“能美市の強みである「地域の力」”という言葉に目が止まりました。報告書全体を通して、いろいろな場面でそれを感じられるように思います。例えば、そのことが書かれているコミュニティ・スクールの項では、学校に対する地域住民の協力によって、子どもたちにとって学校が楽しい場であり、豊かな学び場になっているという事がわかります。子どもたちは地域の人たちとの交流を通じて、地域の良さを感じ取ることができており、子どもたちが地域にかかわってみようという気持ちを育てています。双方にとって良い循環が起きていることがわかります。また、社会教育にあっても、公民館等で様々な講座が開かれていることがわかりますが、これもまた地域の力によって支えられ、地域の力を育てていると思います。

報告書には実績を評価するとともに、今後に向けての課題も書かれています。評価は課題を意識し、今後を考えるためのものでもありますので、長期計画との関係などを意識して行う必要があります。例えば、施設の老朽化への対応はその課題を抱える施設ではどこにとっても喫緊の課題でありながら、どこからどのように、というのは簡単ではないでしょう。そのために立てられた計画も、予想外の出来事に翻弄されることもあり、必ずしも計画通りに進まないことがすぐに問題とは言えません。

報告書を通してみると、特に人材発掘、育成、確保が課題として認識されていることがわかります。少し個別の事柄から離れて考えてみると、この問題はいつの時代も、どのような地域でも課題であるのかもしれませんが、しかし、人口が減少しており、少子高齢化といった状況ではより深刻に感じられるのではないのでしょうか。さらに、学校では個に応じた教育に取り組まれており、能美市では特別支援教育支援員配置人数は年々増やしてきており、一人一人のニーズに応える教育を前進させておられます。また、社会にあっても多様な人々がその人らしくありながら、共に学べるようにしようという社会的包摂の考え方も社会に認識されるようになってきたという積極的な意味でも、学習支援に関わる人材の確保、継続的な研修等は重要な課題となっています。

ところで、他の人、あるいは他の組織との関係がその人や組織が何かをしようとするときの力になることがあります。そのような関係は信頼や互酬性が伴っている時に生まれ、

さらに関係があることによって信頼や互酬性が高まっていくと考えられています。ここでいう互酬性はお互いにとって何かしら“良い”ことがあるということですが、その“良い”ことはすぐに返ってこなくても良く、直接返ってこなくても良い場合もあります。日常的に会っているわけではない人や性格の違う組織とも関係を持つことが自分たちの抱えている問題を発見し、解決できることがあります。この報告書は市民へ地域の中でどのような生涯学習支援が行われているかを知らせる情報提供ツールの一つであり、地域の力を引き出すきっかけとなることを期待しています。